



2024.10.9 Wed. - 11 Fri. 10:00-17:00
パシフィコ横浜 展示ホール、アネックスホール、ノース

出展者プレゼンテーション「創薬モダリティの多様化・融合化」 創薬モダリティ基盤研究会企画 終了後、研究会名刺交換会／ステージ近辺

会期：2024年10月11日（金） 12:05～13:35



場所：パシフィコ横浜 A,B,C,Dホール Presentation Stage C

創薬モダリティ基盤研究会は、多様化する創薬プロセスの変革を鑑み、新規創薬のために必要な基盤技術群の構築と充実に寄与することを目的として、2019年11月より活動を開始した。次世代抗体医薬、核酸医薬、遺伝子細胞治療、および新たなモダリティのための基盤技術構築にむけて、今後2030年にむけて成すべき内容をイメージして活動を行っている。本セッションでは、「創薬モダリティの多様化・融合化はどうあるべきか」をテーマに、本研究会会員の活動の一端をご紹介します。終了後は名刺交換会を実施する。

12:05～12:15 「個別化医療の推進に向けた病理画像AIの応用」

小西哲平氏（株式会社biomy 代表取締役社長）

12:15～12:25 「遺伝子治療バイオファウンドリ®サービス」

牧田 尚樹氏（株式会社シンプロジェン 医療ビジネスユニット、リサーチフェロー）

12:25～12:35 「高親和性ウサギモノクローナル抗体作製サービスと最新の成果」

松本阿佐子氏（極東製薬工業株式会社）

12:35～12:45 「Ecobody技術®による超迅速・網羅的なモノクローナル抗体探索」

天草 陽氏（iBody株式会社 代表取締役CEO）

12:45～12:55 「位置選択的抗体修飾技術AJICAP® による次世代抗体コンジュゲートの創出」

野村 勇作氏（味の素（株） バイオ& ファインケミカル事業本部 バイオファーマサービス部 事業開発グループ）

12:55～13:05 「次世代抗体創薬におけるVHH抗体の活用」

正木 秀和氏（株式会社Epsilon Molecular Engineering 事業開発部長）

13:05～13:15 「Partnering options with Boehringer Ingelheim; gene therapy, regenerative medicine and beyond.」（ベーリンガーインゲルハイムの研究アラアンス；遺伝子治療、再生医療、その他） Dr. Hasan Matsumoto (Ucar) （日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 創薬研究アラアンス部）

13:15～13:25 「研究開発のためのマッチングサービス「コラボメーカー」」

古谷 優貴氏（株式会社Co-LABO MAKER 代表取締役）

13:25～13:35 「創薬モダリティ基盤研究会の進捗について」

北嶋 浩（（一財）バイオインダストリー協会 先端技術・開発部 部長）